

第6学年〇組 道徳学習指導案

平成18年 月 日（〇曜日）第〇時限（：～：）指導者 川口 一

場所：6年〇組教室

1 主 題 名 合唱コンクール 4－（1）社会的役割の自覚と責任

2 主題について

（1）学級の児童の実態

本学級の児童は、最高学年の6年生として、児童会活動や委員会活動、ペア学年の活動などにおいて、学校の中心となって様々な活動に取り組んでいる。また、学級の中でも、係活動や当番活動など決められた活動に取り組んでいる。

しかし、様々な集団の中で自分の役割があっても、教師や周りの友達から言われないと仕事ができず、自ら進んで役割を果たすことができないことがある。また、自分の役割を知っていながらも、仕事を忘れてしまっていたり、他人の言動や誘いについて追従してしまい、すべきことができていなかったりする場面がよくある。

これは、自分のとるべき行動の選択肢の中から、様々な集団の中での自分の役割を自覚することができていないことや、他人の言動にとらわれてしまい、自分の役割を最後まで責任をもって果たすことができないことが原因であると考ええる。

（2）学習内容

本主題の内容項目「社会的役割の自覚と責任」は、視点4「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の（1）に位置付けられている。高学年から出てくる内容項目で、身近な集団の中で自分の役割と責任を主体的に果たすことを指導するのは、社会の中の一員としての自覚を育てるうえで重要である。

しかし、日常生活の中では、友達とのトラブルを避けるために、他人の言動に追従したり、誘いに負けたりして責任ある言動がとれないことがある。

そこで、集団の中で尊重され、生かされながら活動することは大切なことであり、そこには自分の役割が必ずあるということに気付かせたい。

また、他人の言動にとらわれずに、役に立つことを成し遂げることによって、自分の責任を果たしていくことが、日常生活を充実させるうえで重要であることを理解させたいと考える。

(3) 資料の解釈と取り扱い

本資料では、主人公の真理子が、県大会で毎年一位の合唱部に友達の千都和里美とともに入部する。真理子は夏休みの家族旅行を取りやめてまで一生懸命練習に励んだ結果、コンクールの代表に選ばれる。しかし、練習を時々ずる休みしていた千都和里美は代表に選ばれなかった。真理子は里美に「まさかコンクールに出るつもりじゃないでしょうね。」と、きつい口調で言われてしまい、この言葉により、真理子はコンクールに出場するかしないかコンクール当日まで迷ってしまう。思い悩んだ末、開演時間ぎりぎりでも出場を決める。無事に歌い終わり、成績発表で最優秀校に選ばれ、拍手喝さいを浴びる中で真理子はむねがいっぱいになるという内容である。

真理子が友達に言われた言葉をきっかけに、コンクールに出場しないほうがよいのか、出場したほうがよいのかに迷い、思い悩んでいる気持ちを感じ取らせたい。そして、問い返しの発問を使った話し合いの中で、「合唱部のみんなに迷惑をかけない」「責任を果たす」といった気持ちを引き出すことを通して、他人の言動にとらわれず、自分の役割を自覚し、責任をもって行動することの大切さを感じ取らせたい。

3 指導計画（1時間完了）

4 本時の指導

(1) ね ら い

友達の言動に対し思い悩む主人公真理子の気持ちを感じ取り、他人の言動にとらわれず自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする気持ちを高める。

(2) 準 備

読み物資料「合唱コンクール」（明るい心 6年 県教振）

オーケストラの写真

人物絵（真理子・千都・里美）

カードA（「県大会毎年一位」「家族旅行とりやめ」「三十人の中の一人」）

カードB（「まさか出るつもりじゃないでしょうね！」）

カードC（「むねがいっぱいになった」）

道徳プリント（「これからこんな自分に…」）

(3) 関 連

5年 「歩道にとめられた自転車」 中学1年 「わたしは言った」

(4) 指導過程

時間配分	学 習 活 動	教材等	教 師 の 発 問	予想される児童の発言や心の動き
3 分	1 集団の中での役割とはどういうことかを考える。	オーケストラの写真	① このオーケストラの写真の中で、もし一つの楽器がなくなったら、演奏はどうなりますか。	① ・一つの曲として成り立たなくなる。 ・その曲自体がだいなしになる。 ・何か物足りなくて、たぶんきちんとした演奏にならない。
33分	2 資料「合唱コンクール」を読み、主人公真理子の気持ちについて話し合う。	人物絵 読み物資料 カードA		
	(1) コンクールに行く途中、放送局のそばで迷っている真理子の気持ち	カードB 人物絵 (真理子)	② 友達や先生に会わないように隠れているとき、真理子はどんな気持ちだったでしょう。	②

予想される児童の発言や心の動きと「問い返しの発問」の例

【家族】 このまま出場しないと旅行を取りやめてくれた家族にすまない。

～問い返しの発問～
家族のことは気になるよね。ところでなぜ真理子はすまないと思っているの。

ここまで練習を頑張れたのは家族のおかげでもあると思う。家族もコンクールに来てくれるかもしれないから出場しないと**家族に心配をかけてしまう。**

【友達】 どうしよう。千都や里美に仲間はずれにされるかもしれないなあ。

～問い返しの発問～
仲間はずれにされるとつらいよね。それなら出場するのをやめればいいのか。

もし出場しなかったら千都和里美には仲間はずれにされないと思う。けれど、今まで休まずに一生懸命練習を**頑張ってきた自分に悔いが残る**と思う。

【集団の一員】 私は三十人の中の一人に選ばれたのだから出場するぞ。

～問い返しの発問～
なるほど。そう考えたのだね。けれど千都や里美のことは気にならなかったのかな。

千都や里美のことも気になったけど、選んでくれた**合唱部の顧問の先生と一緒に出場するみんなに迷惑をかけてしまう。**悩んだけれど出場する。

指導上の留意点（★印は配慮を要する児童への働きかけ）	評価の観点と方法
<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団として行うことの一つの例として、オーケストラの写真を提示する。 ○ オーケストラの演奏で、そのうちの一つの楽器がなかったらどうなるかを考えさせることで、集団の中での役割について目を向けさせる。 ○ 資料を読む前に、真理子と千都和里美の関係について人物絵を用いながら板書でおさえる。 ○ 資料理解を助けるために、資料を読みながら、カードAを使って、主人公真理子が合唱部に入るまでに至った経緯や練習してコンクールを目指すまでの状況を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団をつくる一人一人の役割について目を向けることができたか、発言内容や表情からつかむ。 ○ コンクールに行く途中、真理子が思い悩んでいる気持ちの奥にある思いや出場すると決めたときの気持ちを、問い返しの発問により深く見つめ考えることができたか、話し合いへの参加態度や発言内容からつかむ。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の発問②の前に、里美からにらむようにして言われた言葉（カードB）を提示し、自分が頑張ってきたのに里美からきつい口調で言われ、友達関係について考えている真理子の気持ちをとらえさせる。 ○ 問い返しの発問を行う際に、出された児童の発言に対して、承認・励ましを与え、共感的に受け止めて、問い返された児童が発言しやすい雰囲気をつくるように心がける。 ○ 「コンクールに出場する。」か「千都和里美のことが頭をよぎり出場しない。」かのどちらかに判断できず、思い悩む真理子の気持ちを感じ取らせるように問い返しの発問をする。 ○ 合唱部のみんなのために出場して自分の役割を果たすということだけでなく、カードAを手がかりにして、「旅行をとりやめてくれた家族のために出場しよう。」や「今まで一生懸命頑張ってきた自分のために出場しよう。」といった多様な考えを引き出すようにする。 ○ 「三十人の中の一人に選ばれたから出場する。」といった発言に対しては、千都和里美との間にできた冷たいみぞについて説明して、真理子が出場するのを迷っていることに気付かせる。 ★ 発表した児童が、問い返しの発問をしてもなかなか答えられなかった場合、その問い返しを学級全員の問題の場として考えていくようにする。 	

時間配分	学 習 活 動	教材等	教 師 の 発 問	予想される児童の発言や心の動き
	(2) コンクールに出場すると決めたときの真理子の気持ち		(3) コンクールに出場した真理子の背中を押してくれた気持ちはどんな気持ちだったでしょう。	(3)
<div> <div>予想される児童の発言や心の動きと「問い返しの発問」の例</div> <div> <div>【家族】 家族に心配をかけてしまう。</div> <div>↓</div> <div>～問い返しの発問～ 出場したのは家族のためだけかな。</div> <div>↓</div> <div>家族のためだけでなく、自分や合唱部のみんなのために出場する。</div> </div> <div> <div>【努力】 今まで頑張ってきた自分に悔いが残る。</div> <div>↓</div> <div>～問い返しの発問～ 自分さえ悔いが残らなければいいのかな。</div> <div>↓</div> <div>自分だけでなく、合唱部のみんなに迷惑をかけてしまう。</div> </div> <div> <div>【集団の一員】 合唱部のみんなに迷惑をかけてしまう。</div> <div>↓</div> <div>～問い返しの発問～ なぜそこまで真理子は考えたのかな。</div> <div>↓</div> <div>合唱部の仲間と心をひとつにして頑張りたいと思ったから。</div> </div> </div>				
4 分	(3) コンクールを終えた後の真理子の気持ち	カードC	(4) コンクールを終え、むねがいっぱいになったとき、真理子はどんな気持ちだったでしょう。	(4) ・合唱部のみんなに迷惑をかけず、自分で決断できてよかった。 ・一緒に練習してきた合唱部のみんなと力を合わせて、最優秀校に選ばれてうれしい。
5 分	3 ゲストティーチャーから、児童の日ごろの活躍についてのメッセージを聞く。	ゲストティーチャー	(5) 日ごろみんなの活躍を見ている先生たちからのメッセージを聞きましょう。	(5) ・この話ってぼくのことかな。今までしていたことは自分の役割を果たしていたんだ。 ・私は今まで進んで役割を果たしていなかったなあ。先生もちゃんと私のことを見ているんだ。
5 分	4 主体的に自分の役割を果たしていこうとする意欲を高める。	道徳プリント	(6) 今日学習したことや先生たちからのメッセージを思い出し、これからどんな自分でいたいかをプリントに書きましょう。	(6) ・先生に言われなくても、進んで係の仕事や当番の仕事を頑張ってみるのになりたい。 ・友達のことにとらわれなくて、これからも自分の責任をきちんと果たしていきたい。

指導上の留意点（★印は配慮を要する児童への働きかけ）	評価の観点と方法
<p>○ 千都や里美のことが気になり、思い悩む真理子の気持ちを深くとらえさせる中で、「三十人の中の一人」や「合唱部のみんなに迷惑をかける」といった気持ちの大切さやその気持ちに至るまでの具体的な根拠を引き続き、問い返しの発問で引き出すようにする。</p> <p>★ 家族・自分の努力についての気づきで止まっている児童に対して、これまで一緒に頑張ってきた合唱部の仲間や顧問の先生存在について着目させ、「集団の一員」としての自分の責任について気付かせるように問い返しの発問をする。</p> <p>○ 思い悩んだ末にコンクールへの出場を決断したのは真理子本人であり、主体的に考えて行動したことをおさえる。</p> <p>○ 「むねがいっぱいになった」(カードC)を提示し、出場してよかったと感じた真理子の気持ちや、合唱部のメンバーや顧問の先生とともに喜びを味わったことをおさえる。</p> <p>○ ゲストティーチャーから学校での活躍についてのメッセージを聞かせ、日ごろ責任を果たしているかどうかを振り返らせ、自分の言動がみんなのためになっているということに気付かせる。</p> <p>○ 6年生として責任ある行動がとれていなかった場面についての話もゲストティーチャーのメッセージの中に盛り込み、友達の言動にとらわれて、自分の役割を果たせなかったことも振り返らせる。</p> <p>○ どのような気持ちで自分の役割を果たしていくかについて考え、道徳プリントに記入させることにより、今後の自分について思い描けるようにさせる。</p> <p>○ 道徳プリントに書かれた内容を数人の児童に発表させた後、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとするという今まで気付かなかった視点をもてたことをおさえる。</p>	<p>○ ゲストティーチャーからのメッセージを聞いて、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たしているかどうか振り返ることができたか、メッセージを聞いている表情やつぶやきからつかむ。</p> <p>○ 主体的に自分の役割を果たしていこうとする意欲を高めることができたか、道徳プリントへの記述内容や発言内容からつかむ。</p>

(5) 板 書 案

合唱コンクール


 真理子


 千都


 里美

県大会毎年一位

家族旅行とりやめ

三十人の中の一人

まさか出るつもりじゃないでしょうね！

・ どうしよう。 まような。

・ 出るのやめようかな。

・ 二人に仲間はずれにされる。

・ 家族に心配をかける。

・ 自分に悔いが残る。

・ 今まで頑張ってきたことがむだになる。

・ 三十人の中の一人に選ばれたのだから出場する。

・ 先生や合唱部のみんなに迷惑をかける。

むねがいっぱいになった

5 備 考

(1) オーケストラの写真



(2) 人 物 絵

真理子



千都



里美



(3) 道徳プリント

道徳プリント 6年 組 名前 ()

これからこんな自分に…

今日の授業をふりかえって、これからどんな自分で
いたいかを書きましょう。
